

静岡文化芸術大ゼミ書籍化

## 竜宮様伝説など89話

静岡文化芸術大(浜松市中区)伝承文学ゼミの二本松康宏教授とゼミ生が今月、同市天竜区春野町の山間部に伝わる民話をまとめた書籍「春野の山のふしぎな話」(三弥井書店)を刊行した。学生らがこのほど、市役所に鈴木康友市長を訪ねて報告を行った。

# 春野町の民話 学生が採録



「春野の山のふしぎな話」を手にする(左から)沢田さん、小田さん、奥村さん＝浜松市役所

書籍はA5判160ページ。村人が川の淵で祈りをささげて竜宮様からお膳や器を借りていたが、ある時おわんを欠いてしまい、以後は竜宮様が出てこなくなってしまう「御立願淵の椀(わん) 貸し伝説」など、地域に伝わる昔話や言い伝えなど89話を掲載した。

刊行に当たっては、ゼミ生の小田ありきさん、奥村宗明さん、沢田駿佑さん(ともに文化政策学部3年)が昨年7月から12月にかけて同町杉、川上両地区の住民宅を訪問。時間を掛けてさまざまな話を採録した。鈴木市長からねぎらいを受けた小田さんは調査を振り返り、「回数を重ねて会うことで、深いエピソードを聞くことができた」と語った。

書籍は千円(税別)。市内の書店などで購入できる。

(浜松総局・草茅出)